



JTEKT

JTEKT STINGS

2014 / 2015 Season

チームスローガン「ONE」のもと、その言葉どおり、チームは一つになり、飛躍の年に!

V・プレミアリーグ男子 2014/15:レギュラーラウンド

順位	チーム	サンダーズ	サンパトリス	豊田合成 トレフェルサ	パナソニック	堺イザイーズ	ジェイテクト STINGS	アールス	FC東京	試合数	ポイント	勝	負	勝率	得セット	失セット	セット率
1	サンダーズ	—	★3-0 ●2-3 ●2-3	●2-3 ★3-0 ●1-3	★3-0 ★3-0 ★3-0	★3-0 ★3-2 ★3-1	●2-3 ★3-0 ★3-0	★3-1 ●0-3 ★3-0	★3-0 ★3-1 ★3-2	21	47	15	6	0.71	54	25	2.16
2	SUNBIRDS	●0-3 ★3-2 ★3-2	—	●0-3 ★3-1 ●1-3	●2-3 ★3-2 ★3-1	★3-0 ★3-0 ★3-0	★3-0 ★3-0 ●1-3	★3-0 ★3-1 ★3-0	★3-0 ★3-2 ★3-0	21	45	16	5	0.76	52	26	2.00
3	アールス	★3-2 ●0-3 ★3-1	★3-0 ●1-3 ★3-1	—	★3-2 ★3-2 ●2-3	★3-2 ★3-0 ●1-3	★3-1 ●2-3 ●2-3	●2-3 ★3-1 ★3-1	★3-2 ★3-0 ★3-0	21	37	13	8	0.62	48	40	1.20
4	パナソニック	●0-3 ●0-3 ●0-3	★3-2 ●2-3 ●1-3	●2-3 ★3-1 ★3-2	—	★3-2 ★3-0 ●1-3	★3-0 ●1-3 ★3-0	★3-1 ★3-2 ★3-2	★3-1 ★3-0 ★3-0	21	36	13	8	0.62	46	37	1.24
5	FC東京	●0-3 ●2-3 ●1-3	●0-3 ●0-3 ●0-3	●2-3 ●2-3 ★3-1	●2-3 ●0-3 ★3-1	—	★3-2 ●2-3 ★3-2	●1-3 ★3-2 ●1-2	★3-0 ★3-0 ★3-1	21	27	8	13	0.38	37	47	0.79
6	JTEKT STINGS	★3-2 ●0-3 ●0-3	●0-3 ●0-3 ★3-1	●1-3 ★3-0 ★3-2	●0-3 ★3-1 ★3-2	●1-3 ★3-2 —	—	●1-3 ●0-3 ●2-3	★3-0 ★3-0 ★3-0	21	25	9	12	0.43	33	44	0.75
7	アールス	●1-3 ★3-0 ●0-3	●0-3 ●1-3 ●0-3	★3-2 ●1-3 ●1-3	●1-3 ●2-3 ●2-3	★3-1 ●2-3 ★3-1	★3-1 ★3-0 ★3-1	—	●1-3 ●0-3 ★3-2	21	25	8	13	0.38	36	47	0.77
8	パナソニック	●0-3 ●1-3 ●2-3	●0-3 ●2-3 ●0-3	●2-3 ●0-3 ●1-3	●1-3 ●0-3 ●0-3	●0-3 ●0-3 ●1-3	●0-3 ★3-1 ●0-3	★3-1 ★3-0 ●2-3	—	21	10	2	19	0.10	18	58	0.31

V・プレミアリーグ男子 2014/15:ファイナル6

順位	チーム	サンダーズ	サンパトリス	豊田合成 トレフェルサ	堺イザイーズ	ジェイテクト STINGS	パナソニック	試合数	ポイント	勝	負	勝率	得セット	失セット	セット率
1	サンダーズ	—	★3-0	★3-2	★3-0	●1-3	★3-1	5	16	4	1	0.80	13	6	2.17
2	SUNBIRDS	●0-3	—	★3-0	●0-3	★3-1	★3-1	5	13	3	2	0.60	9	8	1.12
3	アールス	●2-3	●0-3	—	★3-1	★3-2	★3-1	5	12	3	2	0.60	11	10	1.10
4	FC東京	●0-3	★3-0	●1-3	—	●2-3	★3-1	5	8	2	3	0.40	9	10	0.90
5	JTEKT STINGS	★3-1	●1-3	●2-3	★3-2	—	★3-2	5	8	3	2	0.60	12	11	1.09
6	パナソニック	●1-3	●1-3	●1-3	●1-3	●2-3	—	5	3	0	5	0.00	6	15	0.40

チームスローガンが「ONE」になった。その言葉どおり、チームは一つになり、Jリーグの開幕戦をフルセットで勝利。フェルナンドの豪快なスパイクとサーブは、相手チームに脅威を与えた。さらに加入2年目の古田が調子を上げ、年明けのパナソニック戦に勝利。堺、豊田合成、FC東京に3連勝し、V・ファイナルステージに進出した。ファイナル6では3勝を挙げ、5位でリーグ戦を終えた。なお、このシーズンの活躍が評価され、浅野が全日本に初招集された。

※ポイント=3-0-3-1勝利3点、3-2勝利2点、2-3敗戦1点、1-3-0-3敗戦0点 ※順位は勝率、セット率が同じ場合、得点率によりする。(1)ファイナル6進出チームにはレギュラーラウンドの成績(順位)により予め、次の持ち点(ポイント)を付与する。【ファイナル6進出チームに付与する持ち点の内容】1位・5点、2位・4点、3位・3点、4位・2点、5位・1点、6位・持ち点なし ※上記の順位はレギュラーラウンド順位 (2)ファイナル6の順位は、ファイナル6進出時に付与された持ち点(ポイント)に、ファイナル6で獲得したポイントを加算し、ポイントの高いチームを上位とする。ポイントが並んだ場合は、レギュラーラウンド順位上位チームを上位とする。



若手中心に圧倒的な強さを発揮! 勝負どころで得点ができずに悔しい敗戦。

平成26年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会

12/11 ★3-0 vs 甲南大学 WIN

12/12 ●0-3 vs パナソニック LOSE

甲南大との初戦は、清野、浅野ら若手を中心に戦いストレート勝ち。内容でも相手を圧倒した。ハイライトは準々決勝のパナソニック戦だ。ジェイテクトSTINGSは立ち上がり集中し、すべてのセットで8点を先行した。高橋(和)、興沼を軸にサーブレシーブも安定していた。しかし、パナソニックの速い攻撃の前に苦戦。チームのミスも目立ち、セット後半の逆転を許した。勝負どころで得点を奪うことができず、悔しい敗戦となった。



グループ戦を快勝し、決勝トーナメントへ! 4強入りまであと少しで敗退。

第64回 黒鷲旗 全日本男女選抜バレーボール大会

グループ戦(3戦)

5/1 ★3-1 vs 日本体育大学 WIN

5/2 ★3-0 vs 警視庁フォートファイターズ WIN

5/3 ★3-1 vs 豊田合成トレフェルサ WIN

決勝トーナメント

5/4 ●2-3 vs 堺イザイーズ LOSE

グループ戦で豊田合成に快勝し、首位で決勝トーナメント進出を決めた。サーブでプレッシャーをかけ続けたことが勝因だ。堺との準々決勝も先に2セットを先取した。4強入りまであと一歩だった。しかし、古田、フェルナンド、高橋(和)のスパイクが封じられて、試合をフルセットに持ち込まれる。第5セットも立ち上がりは先行したが、中盤の連続失点が響いて逆転負けを喫した。なお、この大会を最後に、セッターの島野が引退した。



PLAYER & STAFF プレイヤー & スタッフ

1 古田 史郎 ウイングスパイカー 生年月日 1988/01/29 身長・体重 190cm/83kg 出身地 北海道函館市 出身校 法政大学 最高到達点 345cm ニックネーム シロウ	2 金丸 晃大 ミドルブロッカー 生年月日 1984/03/04 身長・体重 191cm/74kg 出身地 埼玉県岩槻市 出身校 亜細亜大学 最高到達点 320cm ニックネーム マル
--	---

3 阿部 純也 ウイングスパイカー 生年月日 1990/07/25 身長・体重 189cm/82kg 出身地 宮城県登米市 出身校 東海大学 最高到達点 335cm ニックネーム ジュンヤ	4 清野 真一 オポジット 生年月日 1988/05/23 身長・体重 186cm/77kg 出身地 愛知県豊田市 出身校 東海大学 最高到達点 340cm ニックネーム セイノ	5 久保山 尚 セッター 生年月日 1992/02/04 身長・体重 181cm/70kg 出身地 福岡県三井郡 出身校 東亜大学 最高到達点 328cm ニックネーム ショウ	6 高橋 慎治 セッター 生年月日 1980/07/16 身長・体重 182cm/76kg 出身地 愛媛県松山市 出身校 松山大学 最高到達点 305cm ニックネーム シンジ
---	--	---	---

7 高橋 和人 ウイングスパイカー 生年月日 1984/06/12 身長・体重 183cm/73kg 出身地 山形県山形市 出身校 東海大学 最高到達点 310cm ニックネーム カスト	8 松崎 良輔 ミドルブロッカー 生年月日 1987/04/25 身長・体重 191cm/85kg 出身地 宮崎県都城市 出身校 福岡大学 最高到達点 340cm ニックネーム リョウスケ	9 本間 隆太 リベロ 生年月日 1991/10/17 身長・体重 178cm/73kg 出身地 神奈川県横浜市 出身校 早稲田大学 最高到達点 325cm ニックネーム ホンマ	10 松原 広輔 ウイングスパイカー 生年月日 1985/07/04 身長・体重 180cm/72kg 出身地 静岡県浜松市 出身校 順天大学 最高到達点 340cm ニックネーム マツン
--	---	--	---

11 袴谷 亮介 ミドルブロッカー 生年月日 1988/11/01 身長・体重 192cm/77kg 出身地 岐阜県羽島市 出身校 日本体育大学 最高到達点 345cm ニックネーム ハカマヤ	12 興沼 亮 リベロ 生年月日 1983/08/14 身長・体重 180cm/64kg 出身地 宮崎県西臼杵郡 出身校 愛知学院大学 最高到達点 330cm ニックネーム ロキ	14 浅野 博亮 ウイングスパイカー 生年月日 1990/10/06 身長・体重 178cm/66kg 出身地 長野県安曇野市 出身校 愛知大学 最高到達点 335cm ニックネーム アサノ	15 若山 智昭 ウイングスパイカー 生年月日 1982/09/11 身長・体重 190cm/82kg 出身地 京都府宇治市 出身校 大阪商業大学 最高到達点 340cm ニックネーム ワカ
---	--	--	--

16 島野 俊一 セッター 生年月日 1981/01/05 身長・体重 180cm/65kg 出身地 岐阜県郡上市 出身校 岐阜工業高校 最高到達点 320cm ニックネーム シュン	17 辰巳 正敏 ミドルブロッカー 生年月日 1989/01/09 身長・体重 190cm/81kg 出身地 埼玉県上尾市 出身校 中央大学 最高到達点 337cm ニックネーム タツツン	18 角田 辰徳 ウイングスパイカー 生年月日 1983/05/24 身長・体重 193cm/85kg 出身地 熊本県菊池市 出身校 法政大学 最高到達点 340cm ニックネーム カクサン	19 フェルナンド・エルナンデス オポジット 生年月日 1989/09/11 身長・体重 196cm/85kg 出身地 キューバハバナ 最高到達点 358cm ニックネーム フォ
--	---	--	---

監督 寺嶋 大樹	部長 田中 明文	GM 早野 容司	副部長 宮下 和広	総監督 長井 浩二	アドバイザー 青山 繁
コーチ 豊田 昇平	コーチ 増成 一志	メデナカルトレーナー 小林 正和	ストレッチトレーナー 大橋 秀俊	通訳兼マネージャー 堀井 京子	アナリスト 窪 智美